

# 兵庫

地域面 3 ページ

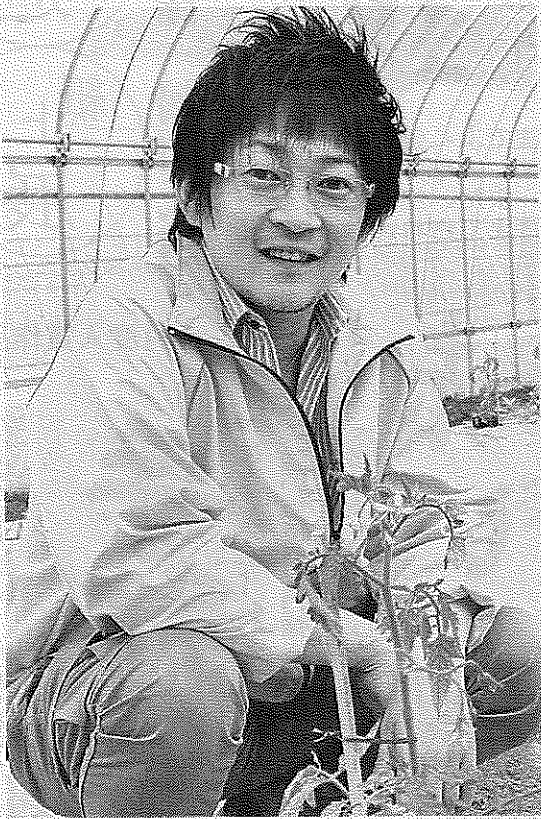
## この人に聞く

豊岡市日高町の建設業者らが09年6月、農業生産法人「チームス」を設立、食品ごみをリサイクルした肥料を使った有機野菜作りなどユニークな農業を展開している。法人の社長で、建設会社社長でもある新免将さん(40)に狙いを聞いた。

【聞き手・皆木成美】

◇法人設立のきっかけ 大阪で育ちました。Uターンして2年後に父が亡くは。私は地元で生まれまじくなり、5畝の農地を相続したが、2歳から25歳まで 続きました。農地を賃し

### 新免 将さん(40)



豊岡市の農業生産法人「チームス」社長

しんめん・まさし 豊岡市出身。高校卒業後、大阪の建設会社勤務を経て、96年に豊岡市にUターンした。亡くなった父親が設立した同市日高町の建設会社「巴建設」の社長に05年就任した。チームスの連絡先は、☎0796・42・2244。

## 循環型の有機野菜作り

### ホテルの食べ残しから肥料

ていた農家の方々が高齢化して耕作できない遊休地が増え、何とか有効利用できないかと考えたのがきっかけです。地域の基盤でもある農業を続けたい人も参加しやすくするには法人化が欠かせないと思っただけです。

◇主力商品は。玉ねぎとニンジンです。「楽農や」のブランドでいずれも年間4トを出荷しています。現在、専従の社員を2人抱え、4・5畝の農地で無農薬・減農薬の野菜作りをしています。

◇有機農業は各地で行われています。わけています。どのようか。に特色を出しています。力を入れているのは循環型農業です。地元のブルリッジホテル(豊岡市日高町栗栖野)と連携し、ホテルで出る食べ残しを肥料にリサイクルしています。肥料を使って「バーチャル農園」契約を結び、契約した都会の人に映像で畑を見せたり、メールで栽培する社員とやりとりしてもらったり、ゲーム感覚で農業に関心を持ってもらう企画も考えています。

◇建設業との両立は。昨年から遊休地の農地

我々で作った野菜を「神戸高原エコ野菜」としてホテルのレストランなどで提供し、共存共栄しています。

◇今後の取り組みは。単に食べるだけでなく、都会の消費者に栽培に関心を持ってもらう取り組みも検討中です。今夏にはビニールハウスの様子を「楽農や」ホームページで公開します。安全安心な栽培してほしいと考えています。また、復帰の受注を受けるようになりまし。これまでに約1畝分の工事をしました。農業に参入したことで新たに生まれた仕事です。田舎暮らしを考える人のために農地付き住宅の分譲も考えています。公共事業が減り、建設業の将来は不透明です。どちらも古里を整備する仕事として、建設業と農業のコラボレーション(協同、提携)を進めたいのです。